

出穂期が平年比4日程度早まっています。 穂肥は遅れないように施用しましょう！

- コシヒカリの葉色は、1回目の穂肥施用等によりやや濃くなっています。
- 全量基肥（一発肥料）体系では、出穂期10日前を目安に追肥を実施しましょう。分施体系では、1回目の穂肥の7日後を目安に、2回目の穂肥を確実に施用しましょう。
- その後、葉色の回復が見られない場合は、両施肥体系ともに出穂期3日前に追加穂肥を実施して、後期栄養を確保しましょう。

1 コシヒカリ生育概況（7月21日調査）

草丈…	84	cm	（指標比 111%、長い）
茎数…	449	本/m ²	（同上 112%、多い）
葉色…	34.8	（SPAD）	（指標差 1.8、やや濃い）
葉数…	12.7	葉	（同上 1.1、早い）

※草丈等数値：定点調査ほ4か所平均値（田植え日の平均：5月5日）

2 当面の対策

（1）コシヒカリの後期栄養確保

～多日照・高温の日が続くと、葉色が低下する可能性があります～

ア 全量基肥（一発肥料）体系

- 出穂期10日前を目安に追肥を実施しましょう。

イ 分施体系

- 1回目の穂肥の7日後を目安に、2回目の穂肥を確実に施用しましょう。

ウ 両体系共通

- その後、葉色の回復が見られない場合は、出穂期3日前に追加穂肥を実施しましょう。

（穂肥及び追肥施用の目安は、図1、図2、表1、表2を参照）

表1 2回目穂肥（分施）、追肥（全量基肥）の目安

区分	施用時期	施用量 （窒素成分kg/10a）
全量基肥体系	出穂期10日前	1～1.5
分施体系	1回目の7日後頃	

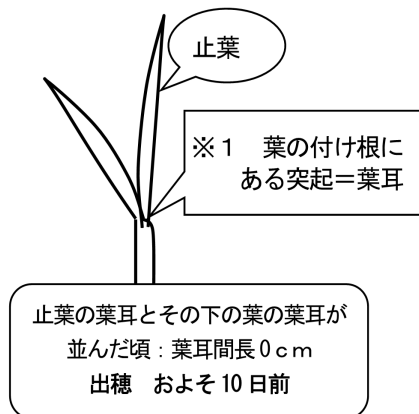


図1 2回目穂肥時期の目安

【例示】

- ・ 出穂期の目標SPAD値:34
- ・ 2回目穂肥時のSPAD値:33
- 穂肥窒素量:約1.5kg/10a

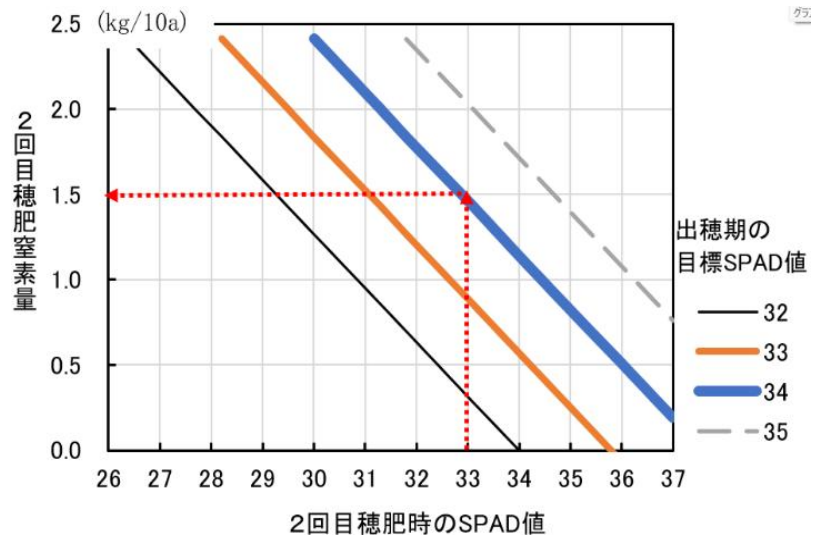


表 2 出穂期直前の追肥の目安

区分	判断時期・葉色（SPAD値）の目安	追肥施用時期	施用量（窒素成分 kg/10a）
全量基肥（化学肥料）	出穂期までのSPAD値が32～34を下回ると予想される時	出穂期 3 日前	1
分施肥系（化学肥料）	出穂期 3 日前・SPAD値31以下		

図 2 コシヒカリ 2 回目穂肥の目安

（２）水管理

- ア 飽水管理を徹底し、完全落水は出穂期後25日以降としましょう。
- イ 用水を大切に利用しましょう。かけ流しはやめましょう。
- ウ フェーン等緊急の入水時には、地域農家間で協力しましょう。

（３）病虫害対策

ア 葉いもち

葉いもちの発生が確認されています。特にいもち病に弱い「新之助」「わたぼうし」は葉色が濃い株などを確認し、病斑を発見したら直ちに薬剤防除を行いましょう。

イ 斑点米カメムシ類

①農道畦畔のイネ科雑草が穂をつけない間隔での継続的な草刈り、②液剤や粒剤など剤型に応じ、適期に防除を行いましょう。

（４）収穫対策

今年は出穂期が平年比 4 日程度早く、また、向こう 1 か月の気温は高いと予報されており（新潟地方気象台 7 月 16 日発表）、収穫期が早まると予想されます。刈取りの準備を進めて、刈遅れによる品質低下を防止しましょう。

『農薬ラベルをよく確認しましょう 農薬の飛散防止に努めましょう。』
「農薬危被害防止運動（6 月 1 日～8 月 31 日）」を実施中！

農作業時には、こまめな水分・塩分補給や適切な休憩を心掛け、
熱中症の予防に努めましょう。

【次回は 7 月 30 日に水稻生育速報No. 7 を発行予定】